

.....
本会記事
.....

新年を迎えて

明けましておめでとうございます。

2020年の新春を迎え、会員の皆様には健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

昨年は、「改・変」に富んだ一年であったように思います。5月に元号が令和と改められ、期せずして10月22日、当協会の秋季大会初日と天皇即位礼正殿の儀が重なり、賑々しくも、厳かなお代替わりの儀式が行われ、大会の懇親会もお祝いムードに包まれました。一方、9月には一昨年に引き続き台風や大雨による大きな災害があり、各産業が大きな打撃を受けました。また、10月には消費税率が10%に変更されましたが、今回は新しく軽減税率が導入され、人々の生活に急変はありませんが、ボディーブローのようにジワリと生活に影響が出ているようです。後半は災害と消費増税により景気下降気味でしたが、新天皇の即位とラグビーワールドカップの盛り上がりのお蔭で、少し気持ちが明るくなったように思います。

当協会も昨年は「改・変」がありました。事務局に新しいメンバーが入り、新しい風が吹き込みました。また、26年間にわたり続いておりました新粉末冶金入門講座を粉末冶金講座と変え、「入門」「基礎」「実用」3つの講座を設け、新しいスタイルで再スタートしました。以前の入門講座は、入門とは言え、少し難しいとの声もあり、昨年は「入門」と「基礎」に分けて、より詳細なテーマで講座を行いました。参加者からもいろいろな要望、意見を頂いており、より役に立つ講座にしていくために反映させていきたいと思えます。今年は7月下旬から8月にかけて東京でオリンピックが開催され、多方面での影響が考えられますので、今年度の粉末冶金入門講座の開催は、7月10日（金）に名古屋大学で開催する予定をしています。また、基礎、実用は11月末頃に京都での開催を予定しています。是非ご参加頂きたいと思えます。

今年の春季大会については、既に講演募集を開始していますが、5月26日（火）～28日（木）、早稲田大学西早稲田キャンパスにて行います。2つの企画セッションと4つの講演特集で講演募集を行っています。締め切りは2月17日（月）ですので、沢山の講演申込みをお待ちしています。また、秋季大会は10月27日（火）～29日（木）、九州大学医学部百年講堂において開催します。九州での開催は平成20年（2008年）以来です。以前も同じ会場で開催しましたが、博多駅からも車で15分ほどの非常に便利なところですので、魅力ある特集を組みたいと思えますので、是非ご予約下さい。その他当会関係の国際会議では、2年毎に行われるWorldPM2020が6月27日～7月1日、カナダ、モントリオールで開催されます。すでに講演募集は締め切られていますが、2月にはプログラム公開予定ですので、ご参加ご検討下さい。

協会誌「粉体および粉末冶金」については、昨年9つの論文をアーカイブとして掲載しました。アーカイブとは重要記録を保存・活用し、未来に伝達することをいい、現在にも役立つ重要な情報があります。アーカイブ記事として取り上げた所以についても説明頂き非常によくわかる内容となっています。当協会誌では、オリジナルの研究論文を掲載することはもちろんですが、粉末冶金の魅力があらためて分かるような、総説、解説を執筆頂き、みなさんに広く知識を持って頂きたいと思えます。また、当協会が主としている粉末を出発原料とした材料技術が、現在、3D積層造形技術をきっかけにして、様々な技術と結びつき、注目を集めています。過去から未来へと技術を伝えるためにも学界、業界を問わず、論文執筆を頂いて、貴重な科学技術の情報を残して頂きたいと思えます。そのために世界への情報発信には英語は欠かせませんが、日本語を母国語とする技術者、研究者にとっては、やはり和文の研究論文の方が、書き易く、理解でき易い点は間違いありません。産業界からもっと日本語論文の必要性の声を上げて頂けるようお願いしたいと思います。

今年の令和2年は、景気も少しずつ上向きになり、ワールドカップの時のように日本全体が活気づくよう願います。また、協会事務局もOne Teamの結束力でこの1年様々なことに取り組んでいきたいと思えます。

最後になりましたが、皆様の今年一年のご健勝とご清栄をお祈り申し上げます。

(井上 羊子)